
目次

1. はじめに	2
2. Excel 外部データ取込み	6
2-1 SQL Server編	
(1) 「PowerPivot for Excel」	7
2-2 Pervasive編	
(1) 「DDLMaker による DDL ファイルの作成」	16
(2) 「ODBC アドミニストレータ」	20
(3) 「DDL ファイルの実行」	24
(4) 「Excelデータ取込み」	27
3. Excel ピボットテーブルとピボットグラフの作成	
3-1 得意先売上実績表	32
3-2 商品売上数実績表	43
3-3 担当者売上実績表	53

第1章 はじめに

本内容は、以下のアプリケーション及びデータベースを元に説明しています。(少し古いですが)

【アプリケーション】

- ・ WIT 販売 RIA Ver4.0
- ・ Microsoft Office 2010
- ・ Microsoft Excel 2010
- ・ PowerPivot for Excel 2010

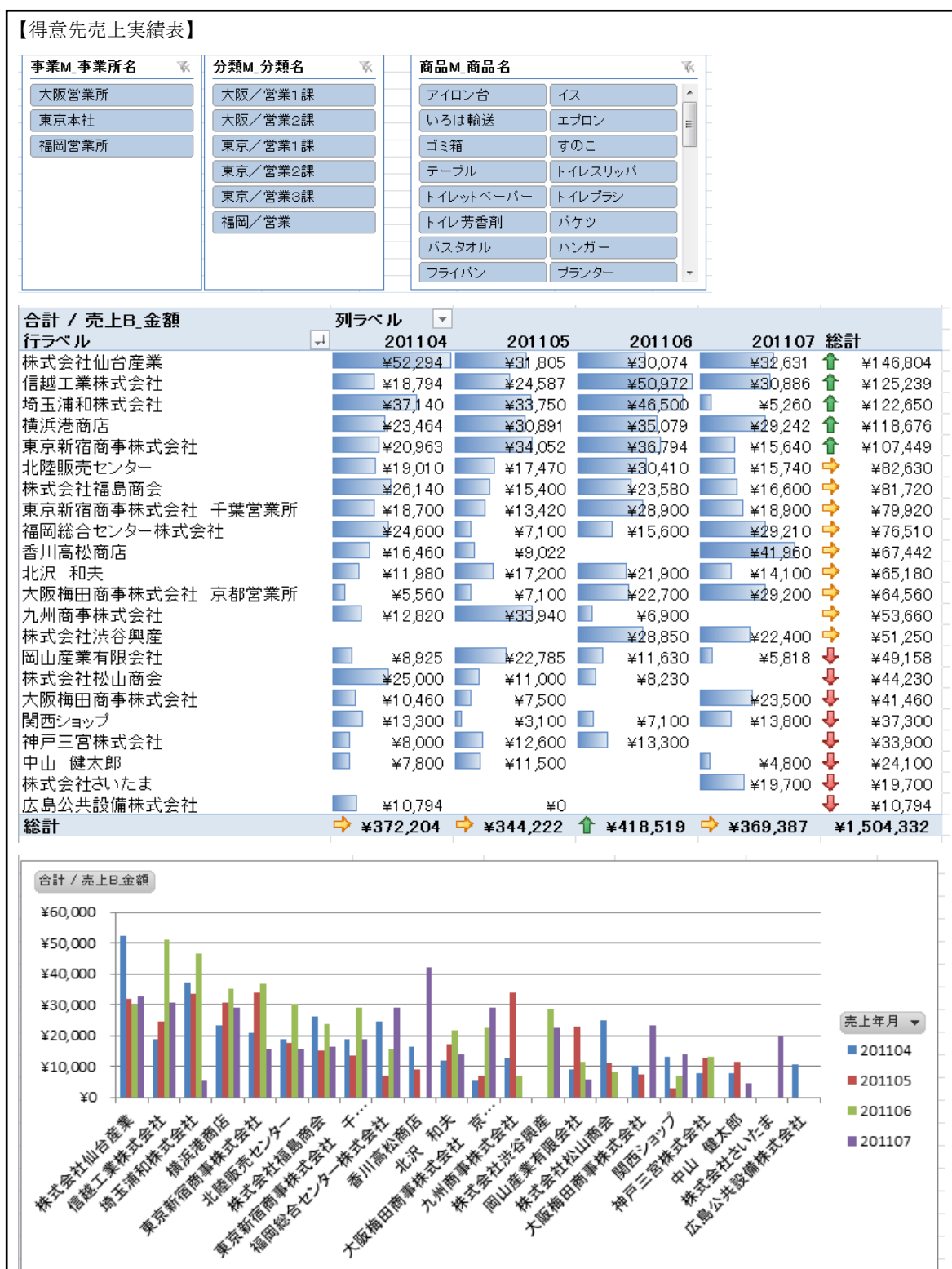
【データベース】

- ・ PervasivePSQL V13 for Magic
- ・ SQL Server2014

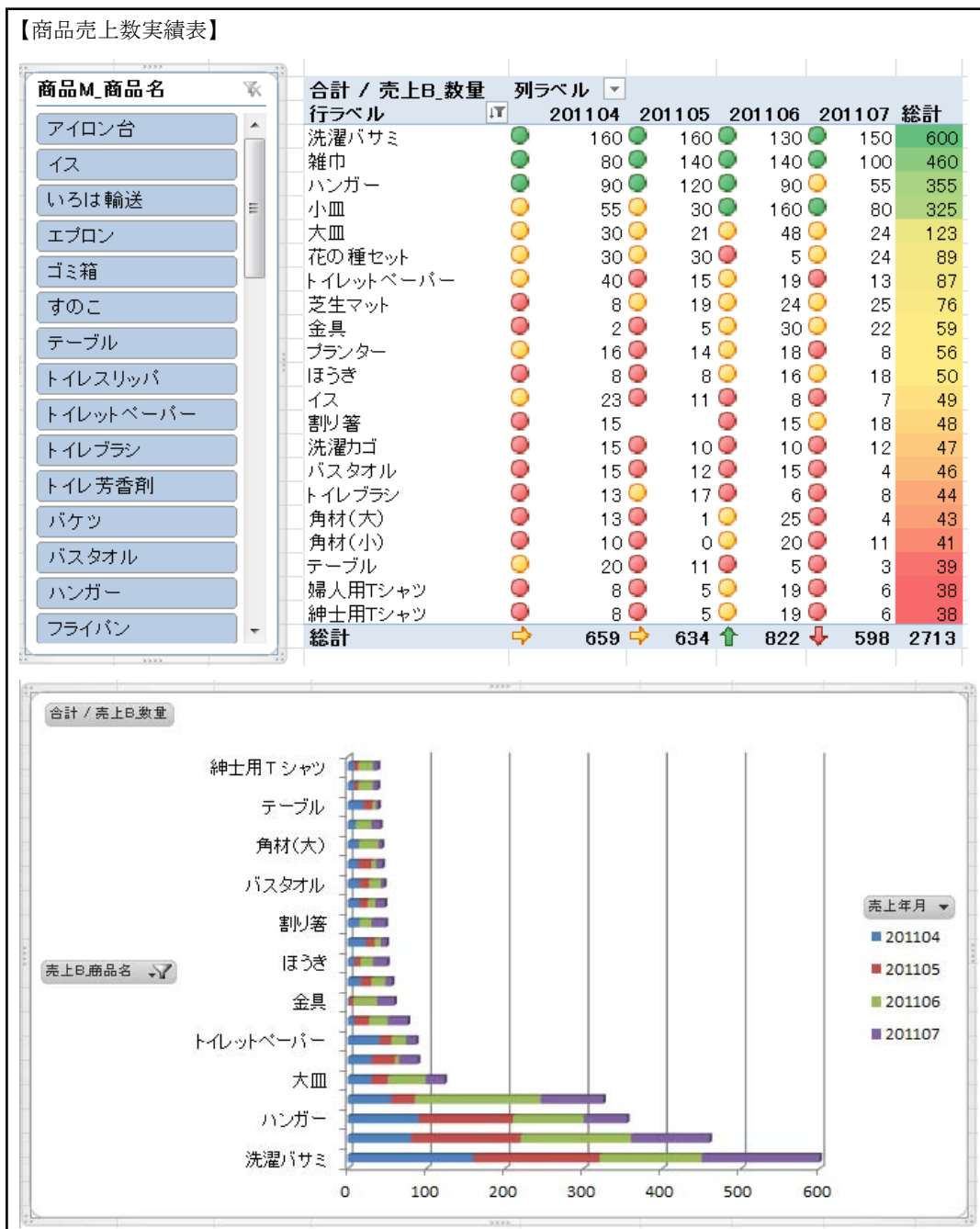
※ PowerPivot for Excel 2010 は、次の URL からダウンロードすることができます。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=7609>

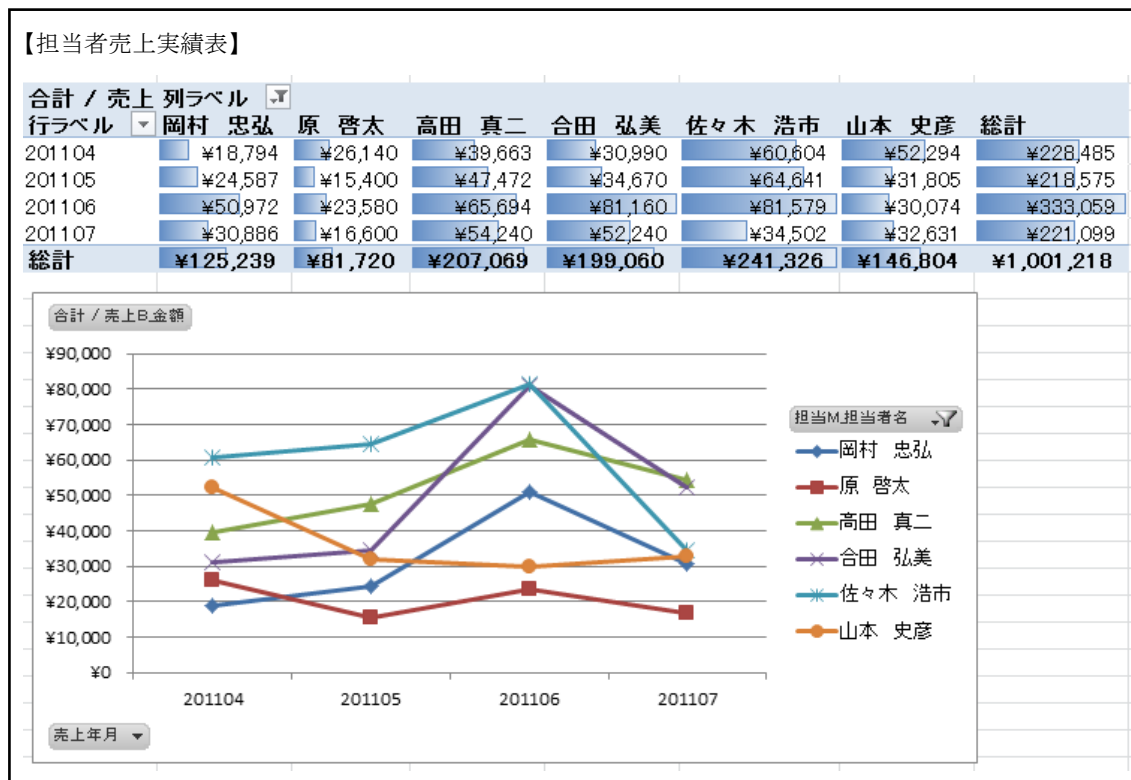
(図1)・(図2)・(図3)は、Excel2010 のピボットテーブルとピボットグラフの機能を使って作成した帳票です。



(図1)



(図2)



(図3)

このような「ピボットテーブル」と「ピボットグラフ」を作成するための設定を説明していきます。

第2章 Excel 外部データ取込み

まずここでは、Excelにおける外部データの取込方法について説明します。
取込方法は何種類かありますが、今回はデータベースごとに以下の方法で行ないます。

【SQL Server】…… P7

・PowerPivot for Excel によるデータ取込みを行ないます。

【Pervasive】…… P16

・Microsoft Query ウィザードと ODBC を使用し、データ取込みを行ないます。

※ Pervasive では、PowerPivot for Excel によるデータ取込みは行なえません。